

令和3年度「JTSDGs 貢献プロジェクト」助成金交付金

竹内マツ植樹隊 会長：荒井秀行 挨拶

令和3年7月1日（木）

只今ご紹介頂きました、竹内マツ植樹隊会長の荒井秀行です。

この度、私どもの団体は、2021年度「JT SDGs 貢献プロジェクト助成事業」に「竹内西緑地マツ林の遊歩道と桜並木の整備事業」で応募しました。結果、この事業の目的・内容を評価頂き、ご採択頂きました。心より感謝申し上げます。

昨年度、当団体は一つの節目を迎えました。平成25年にボランティア団体を設立し、竹内西緑地のうち竹内町に接する部分の開墾・整備に取り組み8年、行政・市民の皆様、民間企業の方々のご協力・ご支援を頂き、何とか目標を達成することができました。

ここで、当団体の目的と実績について少し紹介します。

当団体の目的について話をします。「以前の弓ヶ浜半島は、白砂青松の景勝地であり、私達が住んでいる地域の松林（竹内西緑地）は、その後、松くい虫や塩害や雪害で松枯れが進み、人が立ち入ることが出来ないような雑木林に成ってしまいました。私たちは、昭和30年代の美しい白砂青松の景観を取り戻し、子孫に伝えたいとの思いで、ボランティア団体竹内マツ植樹隊を立ち上げました。」

主な活動と実績について説明します。今回の整備対象部分の面積は、約57,000㎡（500×110m）で、令和2年11月の植樹祭を実施し、この地域での開墾・整備・植樹は完了しました。植樹した松の苗木の総数は7,375本で、桜の木は令和元年、2年の2年間で38本植えこみました。また途中で松枯れした松の木の切り倒し約80本、植樹した松の苗木で4年生以上の松の木の枝おろしなどを実施しました。

次に年間の作業スケジュールについて概略の説明をします。整備作業の8割は草刈りで、4～8月の間は月2～3回の除草作業、9～10月開墾・枝おろし・除草、11月植樹・整備等を行います。年間8ヵ月間に24回程度の作業を行っています。

通常の作業時間帯は、午前9時～11時30分ですが、最近は乗用の草刈り機による作業効率が良い上に、運転者の体力的な疲労が少なく、別途に残業して作業をしています。この機械をうまく使うことが、草刈り作業全体のカギを握っています。今回、この機械を助成金で購入する予定にしています。現在使用している機械は、境港市所有のものを借用して使用しています。

次に、当団体の会員数について説明をします。令和3年6月現在、竹内マツ植樹隊の会員数は60人で、作業実施日には、その内から15人～20人程度のボランティアが参加します。もちろんこの事業の後押しをして頂いている jtさんも鳥取市より予定日程に合わせて参加して頂いています。また、11月に行う植樹祭は、地区の自治会や市民にも呼びかけ80人～90位参加を頂き実施しています。特に令和元年から実施している桜の木の植樹は、小学生の卒業記念植樹や地区の自治会や団体の記念植樹を実施しました。

次に、ボランティア活動で表彰されてもののうち2件説明します。

一昨年は、当団体の森林の緑化運動が評価され、令和元年の5月には、第30回全国「緑の愛護」に於いて、国土交通大臣表彰を受けました。また、昨年10月31日には、鳥取県植樹祭において「令和2年度鳥取県美しいもりづくり功労者」賞を受賞しました。鳥取県内で、表彰者は個人3人、団体は2件ありました。

このような賞を受賞させて頂けるところまで成長できたのも、多数の皆さんの直接的なボランティア支援や多数の市民の皆様、複数の企業様のご寄付による支援、更に行政からの助成金で事業を続けることができたからだと思います。関係各位に深く感謝申し上げます。

以上の経過により、初代（故）門脇眞澄会長の掲げた目標の一つ「人の入り込むことが出来ないくらい鬱蒼とした雑木林」の整備は出来ました。マツの苗木も7,000本以上植えました。しかしながら、美しい松林を創るには、あと30年くらいはかかるでしょう。今後とも草刈り、枝おろし、間引きを継続して実施して行きたいと思います。8年間で開墾・整備・マツの植樹は完了しました。

これから、当団体が目指すものは、「境港市の海の玄関口にふさわしい景観を創ること」であります。

竹内南岸壁には「境夢みなとターミナル」、「夢みなと公園」、「境港公共マリーナ」、「弓ヶ浜サイクリングロード」等ハードの施設は拡充してきました。この地区には、境港市の表玄関としての景観整備が求められます。中でもこの竹内西緑地の整備が大きなカギを握っていると思います。

当団体は、この地に「白砂青松」の環境を取り戻し、①現在整備している500m×110mの緑地の中央部に設置している通路を利用して、ゆったりと散歩のできる遊歩道と休憩所の設置をする。②夢みなと公園から中野公園まで2kmのチェリーロード（桜並木）の整備をする。令和3年6月現在、整備対象区域内に桜の木を38本植え込み、今年36本を新たに植える予定です。加えて、③弓ヶ浜サイクリングロードを水木しげるまで延伸する事業の実現を目指し活動をします。

最後になりますが、SDGsの貢献プロジェクトの事業として、当団体は「境港市の海からの玄関にふさわしい美しい白砂青松の緑地帯」と人々が健康で楽しく暮らせるための「市民の憩いと健康ゾーンを創る事業」を行政や市民と協力して整備を進めます。

本日は、「SDGs 貢献プロジェクト助成事業」に当団体の事業を採択頂きましたことに対して改めてお礼申し上げます。先ほど申し述べた通り、皆さんと協力し共に取り組むことをお誓い申し上げ、マツ植樹隊からの決意の言葉とさせていただきます。

本日はどうも有難うございました。

資料1、位置図と開墾区分

- 2、令和2年12月末活動報告（寄付のお礼）
- 3、夢みなと公園の自転車道路配置図（案）